

“社会に触れる学び”とこれからの高等教育 —ハンズオン・ラーニングの現在地—



キャンパスを出て
社会に学ぶ



近年、日本の大学では、大学組織の改編やカリキュラム改訂など、教育プログラムの抜本的な見直しが進んでいます。その目的の根本には、日本における今後の教育全般のあり方を主導する取り組み(プログラム)が据えられていなければなりません。

本学では、ハンズオン・ラーニングプログラムを新しい教育プログラムの中核の一つに位置づけています。ハンズオン・ラーニングとは、文字通り、“触れる”ことをキーワードにした学びのスタイルを大切にする教育プログラムであり、アクティブラーニングやプロジェクト型学習(PBL)、サービスラーニングと近接する意味合いや実践を含んでいます。

本シンポジウムでは、ハンズオン・ラーニングとは何か、アメリカにおけるハンズオン・ラーニングの位置づけはどのようになっているのか、学生や教員のみならず、本プログラムに関わる者は、どのような関係を築くことができるのか、といった課題を明らかにします。

日時

2019年5月11日(土)13:00~17:10 (12:30開場)

会場

関西学院会館 レセプションホール
(兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155)

プログラム

<第1部>

ハンズオン・ラーニングとは何か? ~アメリカからのメッセージ~

唐川 靖弘

米国コーネル大学 ジョンソン経営大学院 マネージングディレクター

木本 浩一

関西学院大学 ハンズオン・ラーニングセンター教授

<第2部>

関学ハンズオン・ラーニングがめざしているもの

~企業・地域・卒業生の視点から~ (事例紹介)

企業連携事例

ワイジェイFX株式会社(ヤフーグループ)

地域連携事例

朝来市商工会、NPO法人JAE

卒業生連携事例

2013年 理工学研究科 化学専攻修了(沢井製薬株式会社 勤務)

2015年 経済学部卒業(株式会社リクルートコミュニケーションズ 勤務)

2017年 司法研究科修了(神戸合同法律事務所 勤務)